

東愛宕中だより

～良き社会人を育てる学校～
誠実・協調性・粘り強さ

多摩市立東愛宕中学校
〒206-0041 多摩市愛宕1-52
電話 042-374-9781
ホームページアドレス
<http://www.tama.ed.jp/atagochu/>

ユネスコスクール認定校



令和 7年 4月 15日(火) 発行 第1号

令和7年度 第54回 入学式

校長 竹田 和彦

学校の桜が満開の中、暖かい日差しの下で本校の第54回入学式を4月8日(火)に挙行いたしました。多摩市教育委員会 統括指導主事 池田 豊一様をはじめ、多くのご来賓の皆様には、ご多用の中、ご臨席賜りましたことに改めて御礼申し上げます。

入学生徒呼名では、担任による一人一人の名前を読み上げ、それに対して大きな声で返事をする姿が何とも初々しく、続いてさっと起立した瞬間、新入生と演台に立つ私と目線が一致したことが印象的でした。「目は口ほどにものを言う」という諺がありますが、その新入生の視線は、正に新しいことへ挑戦する希望や、やる気がとても伝わってくる輝いた瞳に、改めて教職員一同、一丸となって新入生をよりよく導いていこうと、その責任の重さと、遣り甲斐を強く感じました。

新入生の皆さんには、夢や希望、そして期待と不安をもって、これからの中学校生活が始まります。私は、新入生へ大前提となることを式辞でお伝えしました。それは、「学校は失敗してもいいところである」ということです。

もちろん、いろいろなことに挑戦して、自分に磨きをかけようと挑戦することは、とても大切なことです。しかし、実践する前に、「失敗したらどうしよう」という気持ちが先立ち、消極的になってしまることがあるかもしれません。ぜひ自分で考え、あるいは友だちや大人の意見も取り入れて実践しようとしてみてください。私自身、挑戦した結果、失敗から学ぶことは、今まで数多くありました。でも、失敗を恐れているだけでは学びは進化しません。「失敗は成功のもと」「失敗は成功の母」という諺もあります。ぜひ、失敗を恐れず、多くのことにチャレンジして自分自身をレベルアップしていってください。

入学式では、新入生はもちろんのこと、新入生を迎える3年生、2年生たちも大変立派でした。新入生にとっての上級生たちは、入学式の前日に始業式に臨み、新入生より一日早く令和7年度をスタートしていました。上級生になった初日の始業式では、いつもながら元気の良いあいさつを交わし、一生懸命歌う校歌が体育館内に響き渡りました。やはり上級生の姿勢も目つきも、真剣そのものでした。

入学式の準備に入ると、上級生たちは手分けをして体育館内外の掃除や、パイプ椅子の設置、紅白幕の設置など、様々な場面で協力して活躍してくれました。新入生を迎えるために、意欲的に、そして一生懸命取り組んでくれた上級生たちを、是非、頼もしく思っていただき、これからの東愛宕中学校生活を充実したものにしていきましょう。

令和7年度が始まり、61名の新入生も本校へ入学して、全学年の生徒と教職員が揃い、入学式以降、東愛宕中学校の校舎が息吹いてきたことを実感します。

全学年の生徒が、とても素晴らしいスタートを切りました。今年度も教職員一同、皆さんの教育に関わることを大変嬉しく思います。お互いに頑張りましょう。

